

とっとり琴浦熱中小学校の取組について

企画政策課

1 関係人口創出・拡大のための中間支援組織の提案型モデル事業(内閣府実証実験事業)の採択について

(1) モデル事業

企業版ふるさと納税を活用した「ふるさとみつけ塾」プログラムの開発

(2) 事業期間 令和2年8月～令和3年2月

(3) 事業費 10,000千円

(4) 事業概要

実施主体 (一社)熱中学園(本部)及び各熱中小学校事務局

協力自治体 11自治体

北海道更別村・東川町、千葉県銚子市、富山県高岡市、

和歌山県上富田町、鳥取県琴浦町、徳島県上板町、

高知県越知町、宮崎県小林市、熊本県人吉市、宮城県丸森町

実証実験の目的

- ・熱中小学校のネットワークを活用して地方と都市のマッチングシステムを構築し、関係人口の創出・拡大を図る

ターゲット

- ・都市部企業の中高年層の働く場所の提供、セカンドキャリア
- ・IT企業社員による地方でのリモートワーク、ワーケーション

スケジュール

- ・8月～9月 都市部での企業訪問、オンラインセミナーでの募集
- ・10月～11月 各地の熱中小学校にオンライン参加、地域を探す
- ・12月～2月 実際に地方での仕事や2地域居住を体験

熱中小学校事務局の関わり

- ・リモートワーク、ワーケーションのサポート
- ・都市部の人材を受け入れる働き方の提案及び調整

琴浦町での働き方モデル	新しいデジタルヘルスモデル開発 教育現場でのICT活用 役場業務デジタル化へのアドバイザー ワーケーションで魅力発信
-------------	---



- 都市部の企業人の地方でのリモートワーク、副業につなげ、将来的な移住や2拠点生活へのきっかけづくりとする。
- 関係人口創出の取組に共感する企業に対して、ふるさと納税の推進

(5) 三菱総合研究所・熱中小学校共催セミナー

「新ワーケーション論～学びと貢献が人生と日本を変える」

いま注目を集めるワーケーション。しかし、ワークとバケーションだけでよいのでしょうか。ワーケーションの本質は、地域の人々との交流、地域での学び、地域への貢献であるべきです。

国内 15 校、海外 1 校を展開する大人の学び舎である熱中小学校と、都市と地方に、人材循環により働き方改革と地方創生の同時実現を目指す三菱総合研究所が共催セミナーを開催します。

日時：9月25日(金)15:00～17:00(オンライン配信)

内容：

【報告1】逆参勤交代でワーケーションを加速 / 株式会社三菱総合研究所

プラチナ社会センター 首席研究員 松田智生氏

【報告2】熱中小学校の挑戦と未来 / 熱中学園 代表理事 堀田一芙氏

【パネルディスカッション】

新ワーケーション論～学びと貢献が人生と日本を変える～

【パネリスト】

株式会社デンソー 東京支社長 光行恵司氏

株式会社日本経済新聞社 さいたま支局長 松田 隆氏

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 参事官 得田 啓史氏

熱中学園 代表理事 堀田一芙氏

申込方法：プラチナ社会研究所サイトから申し込み

<http://platinum.mri.co.jp/> (三菱総合研究所・熱中小学校共催セミナー)

2 熱中通販事業について

(1) 熱中通販の実績

ア 実施期間 平成31年1月～令和2年6月末(18ヶ月)

イ 総売上額 272,154円

(2) 熱中通販事業の撤退

山形県高畠町が展開していた熱中通販に平成30年度より参加していたが、令和2年6月末をもって撤退した。

令和2年度については、ECコンサルへの委託契約は行っていない。

(3) 自主財源確保策の検討

現在、とっとり琴浦熱中小学校独自の通販事業を模索するなど、新たな財源確保に向け、検討を進めている。

内閣府実証実験採択事業「ふるさとみつけ塾」について

事業概要：関係人口創出・拡大のための中間支援モデル構築に向けた調査、検討
 都市部の企業人を対象とし、熱中小学校のネットワークを活用した漢検人口を構築
 実施主体：一社）熱中学園＋各熱中小学校事務局（11団体） 琴浦校では一社）熱中ことうら

令和2年度 関係人口創出・拡大のための中間支援組織の提案型モデル事業 採択団体(一覧) (1)



⑤ 一般社団法人 熱中学園 (東京都墨田区)
 「企業版ふるさと納税を活用した「ふるさとみつけ塾」プログラムの開発」

北海道東川町、北海道更別村、宮城県丸岡町、千葉県銚子市、富山県高岡市、和歌山県上富田町、鳥取県琴浦町、徳島県上板町、高知県越前町、熊本県人吉市、宮崎県小林市

全国各地で取り組んでいる熱中小学校(主に地元住民を対象とし、社会経験豊富な講師が教える新しいことに挑戦するための大人の社会塾)に、地域外の都市部住民も参加する「ふるさとみつけ塾」を開講。災害復興型、都市近郊型など様々な地域特性を生かしたモデルの形成に取り組む。

ふるさとみつけ塾における ふるさとワークのイメージ

“今の仕事を、地方で・地元で 続けたい”を、支援したい企業と連携
 “地元に戻れる会社を選ぶ”選択肢を、地元学生に提供

